

JIA建築家大会東京 9月13日から

テーマは「素となることと多様な相」

日本建築家協会（JIA、六
鹿正治会長）は、JIA建築家
大会2018東京「素となるこ
とと多様な相」の概要を発表し
た。東京開催は14年ぶり。9月
13日から15日までの3日間、明
治大学駿河台キャンパス、グラ
ンドハイアット東京、建築家会
館の3会場で多彩なイベントを

展開する。10日から14日までの
ARCA SIA（アルカシアII
アジア建築家評議会）東京大会
を引き継ぎ、連続的な開催とな
ることから、建築家の職能や存
在を社会に投げかける1週間に
なりそつた。

テーマは、同時開催のアルカ
シア東京大会の「Simpli
city/Multiplic
ity」の邦題であり、現代的
な設計手法と、立ち戻るべき建
築家のあり方とを重ねた。

現時点では、基調講演者に国
内外のプリツカー賞受賞者クラ
スの建築家を招く予定。このほ
か、環境やまちづくり、災害、
保存などの全国会議合同シンポ

ジウム、公共工事実施予定コン
ペの公開審査、若手セッション
のほか、多彩な企画・展示を展
開することになっている。5月初
めに公式ホームページを開設
し、同18日のJIA関東甲信越
支部全員集会で最新情報を発表
する。大会への登録は7月末か
ら受け付ける予定だ。

問い合わせは関東甲信越支部
・電話03-34408-829
1。